

# 麦の穂

59  
平成26年  
4月10日発行

医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
Araki Neurosurgical Hospital

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

## 平成25年度 チームケア(医療介護連携)推進モデル事業報告会

平成26年1月29日(水) 広島ダイヤモンドホテルにて、チームケア推進ワークショップを開催しましたのでご報告いたします。

広島県では高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築の一環として、広島県地域包括ケア推進センターが、県内全市町でモデル地域を選定し、地域でのケアカンファレンスを通じて、医療・介護連携の課題や改善策等を検討するチームケア推進モデル事業を実施しています。当院では2年連続で本事業に参加し、西区診療圏における医療・介護関係者の相互の役割の理解と推進を図りながら、日常生活圏域の社会資源の状況に応じた連携体制の構築を図って参りました。

今年度事業では、「脳卒中患者に対する退院後のモニタリングカンファレンスを通じた在宅支援」と「要介護5で在宅生活を送る患者を支援する医療・介護連携」の2症例について症例報告会を行った後、平林医院 院長 平林一郎先生をはじめ、本症例に従事された介護者とのパネルディスカッションを行うと共に、地域の医療・介護従事者70名の方々とワークショップを開催いたしました。

続く情報交換会では、広島市西区医師会 副会長 山本 匡先生より、西区医師会事業「西区在宅あんしんネット事業」についてご説明いただき、西区という行政区で医療と介護が連携した地域完結型医療を目指し、引いては地域包括ケアシステムに結び付けて行く西区医師会の事業計画についてもご説明いただき、理解をより深めることができました。

この2年間の事業を通じて、再認識しましたことは、「切れ目のない医療と介護」を提供するためには、「顔の見える連携」が不可欠であるということです。今後も一つひとつ丁寧に連携を図り地域医療に貢献して参ります。

院長 沖 修一



パネルディスカッション

### もくじ

- 1 平成25年度 チームケア(医療介護連携)推進モデル事業報告会
- 2 慢性疾患看護専門看護師が当院に誕生!
- 3 回復期セラピストマネジャーの活躍に期待!
- 4 地域リハビリテーション連携の会「リハカフェ」について  
西区在宅あんしんネットの紹介
- 5 連携医療機関のご紹介 —— えもり内科クリニック ——

# 慢性疾患看護専門看護師が当院に誕生!

このたび、当院看護部の鈴木桂子が「慢性疾患看護専門看護師」の資格を取得するという輝かしい目標を達成しました。

当院では、認定看護師2名の在籍に加え、初めての専門看護師の誕生となります。

慢性疾患の代表格は生活習慣病です。日々の生活習慣の積み重ねによって発症する病気の総称で、日本人の約3分の2が死亡していると言われている疾患です。生活習慣病に代表される慢性疾患は入退院を繰り返すことが特徴で、患者の体だけでなく心にも負担を与える病気で、看護師も患者の生活環境などを十分に理解した上でケアしなくてはなりません。

慢性疾患看護専門看護師の仕事は、専門知識や技術の向上を図り、看護活動への研究活動に参加し支援を行うことから始まり、生活の改善の指導や回復に向けてのプラン作りの提案を行い、慢性疾患の病態生理を理解し、心理社会的な側面からも看護支援を行います。

今後は進む続ける高齢化社会では、慢性疾患看護業務は需要の高い業務であることは間違いありません。一方で慢性疾患看護専門看護師の取得者は少なく、広島県で僅か5名、全国でも103名（平成26年3月時点）の登録数であり、鈴木看護師はその一員として活躍することになります。

鈴木看護師は、広島大学大学院 成人看護開発学 森山研究室に在学中に結婚し、出産（2児）を経て、子育てと臨床勤務を両立しながら卒業し、今回資格を取得しました。

現在は、回復期リハビリテーション病棟（42床）で勤務しています。

入院から退院に向けて、トータルサポートができるよう、看護スタッフの育成や他職種とのチームアプローチ向上に力を注いでいます。

また、その基盤となるための教育体制づくりや、日々の業務や患者さんからの学びの中で得た問題や業務改善の視点から看護研究に取り組むなど、看護をいろいろな方面から見つめています。

さらに、専門看護師としての活動のあり方を模索し、看護活動の土台を固めているところです。

当院としても、鈴木看護師に大きな期待を寄せています。

専門看護師の活動が、看護スタッフに良い刺激として波及し、看護師一人ひとりの意欲向上とやりがい、働きがいにつながって、看護部全体の質向上への第一歩となることを期待しています。



慢性疾患看護専門看護師  
鈴木 桂子

看護部長 島田 節子



# 回復期セラピストマネジャーの活躍に期待!

平成12年（2000年）に制度化された回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期リハ病棟）は、14年目を迎え、届出病棟数・病床数は増加傾向（平成25年12月27日現在 全国1545病棟・68,190病床）にあり、すでに回復期リハ病棟に従事しているセラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）数は2万人に迫る勢いです。

多職種のスタッフがチームを組んで患者さんの自宅復帰を目指す回復期リハ病棟においては、病棟におけるマネジメントは重要な課題となります。一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会では、この課題解決に向けて、セラピストも積極的に関わるべきとの考えから、「質の高いリハサービスの提供は当然の事、人的・環境リスクに関するリスク管理及び他職種との協働、さらに病棟運営に寄与し組織管理を実践できる療法士の育成」を目的に、『回復期セラピストマネジャーコース』を設けています。本コースは、1回6日間の研修を一年間に3回・計18日間の研修と認定試験で構成されており、この試験に合格することで、晴れて認定証（5年更新制）が授与されます。

当院には資格取得支援制度があり、本制度を利用した 水戸裕香 言語聴覚士長（2期生；平成24年度認定授与）と、 岩田学 理学療法士主任（3期生；平成25年度認定授与）の2名が回復期セラピストマネジャーとして在籍しています。

回復期セラピストマネジャーの活動が、患者さんへ提供するリハサービスのみならず、他セラピストへのよい手本と刺激となり、セラピスト一人ひとりの意欲向上や働きがいに繋がり、リハビリテーション部全体の底上げとなることを期待しています。

リハビリテーション部長 今田 直樹



回復期セラピストマネジャー  
言語聴覚士長 水戸 裕香



回復期セラピストマネジャー  
理学療法士主任 岩田 学



## 地域リハビリテーション連携の会「リハカフェ」について

平成26年2月5日に当院にて地域リハビリテーション推進の会「リハカフェ」を開催致しました。本会は広島県から指定を受けた地域リハビリテーション広域支援センター事業の一環として行われたものです。今回はテーマを『情報の連携について』と設定し、生活期に関わる療法士のみでなく、ケアマネジャー等の多職種からも多くの参加がありました。他施設から総勢70名を超える参加があり、大変有意義な会となりました。

今後も、地域の皆様に貢献できるよう、地域リハビリテーションの実践に向け病院として取り組んで参りたいと思います。



グループワークの様子



発表風景

リハビリテーション部 猪村 剛史

## 西区在宅あんしんネットの紹介

平成26年2月25日、広島医師会館にて開催された西区医師会の在宅あんしんネット第1回バックアップ会議に、沖院長をはじめ4名のスタッフで参加して参りました。この会議は、広島市西区医師会が、在宅医療推進拠点整備事業として広島県から委託されたことを受けて開催されたものです。このたびは、西区医師会の関係委員の先生方と西区内の13病院の代表者が一堂に会する盛大なものとなりました。

当院は、本事業の中で、24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築を推進するために、開業医の先生方をバックアップする西区内の後方支援病院のなかの拠点病院として機能します。その役割を担うために、地域連携室には専任の看護師を配置し、着々と準備を進めているところです。

これからも、当院は、このような事業に協力していくなかで、地域医療充実へ向けて積極的に貢献したいと考えています。

地域連携室 佐々木 洋



会議風景

# 連携医療機関のご紹介

## えもり内科クリニック

住 所：〒733-0823  
 広島市西区庚午南2-35-23  
 T E L：082-507-3811  
 F A X：082-507-3812  
 診療科：内科 消化器科  
 院 長：江盛 圭史



院長 江盛 圭史 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●
16:00~19:00	●	●	●	／	●	／

\* 休診日 / 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

### ■ えもり内科クリニックについて

平成11年5月に現在地（庚午南）に開院し、今年で15年目となりました。内科一般の外来診療を行っていますが、昼（13時から16時）の時間での在宅訪問診療、グループホームへの訪問診療も行っております。

### ■ 当院の診療

日常診療においては、丁寧に、わかりやすくご説明するように心がけております。  
 午後の外来診療は夜7時までとしておりますので仕事帰りの方にも多少とも利用しやすいかと思  
 います。  
 また、月1回、栄養士による糖尿病の栄養指導を行っております。  
 なお、昨年より荒木脳神経外科病院および他の診療所との連携による機能強化型在宅支援診療所  
 となっております。

### ■ 荒木脳神経外科病院との繋がり

荒木脳神経外科病院とは在宅支援診療所として連携を行っており、在宅患者様の緊急の入院を願  
 いすることもあります。その際、開放病床を利用させていただくと当院からも比較的近いため入院  
 中の患者さんの診察に行くこともでき、さらに  
 パソコンを介しての検査データ等の情報の共有  
 も可能となっており、大変有益なものと感じて  
 おります。また、画像診断予約センターにてC  
 T、MRIでの検査・診断をお願いすることが  
 できることは患者様の利便性を考えても大変あ  
 りがたいことです。今後とも地域の皆様にとっ  
 てより良い医療を目指して努力してゆきたいと  
 思います。



えもり内科クリニック正面玄関

医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 一、急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 1. 「医療の原点は救急である」
- 2. 快適な療養環境と接遇の提供
- 3. チーム医療の推進と相互啓発
- 4. 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

- 医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います
1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
  2. 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
  3. 医療に関して知る権利を尊重します
  4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
  5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
  6. 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
  7. 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表

平成25年9月1日～

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	医長 谷	診療部長 山崎	診療部長 加納	院長 沖	副院長 江本	広大
		再診(2診)	副院長 江本	院長 沖	太田	診療部長 山崎	太田	医長 谷
	午後	初・再診(1診)	診療部長 加納	医長 谷	広大	副院長 鮎川	診療部長 加納	広大
脳神経内科	午前	4診				青木		
総合診療 (内科・外科)	午前	3診	診療部長 野村	診療部長 藤井	診療部長 野村	診療部長 藤井	診療部長 野村	診療部長 渡辺
	午後	3診	診療部長 渡辺	診療部長 渡辺	診療部長 渡辺	診療部長 野村	診療部長 渡辺	診療部長 野村
	午前		渡辺 (検査日)		渡辺 (検査日)	野村 (検査日)	渡辺 (検査日)	
	午後				野村 (検査日)			
外科	午前	4診	診療部長 藤井				診療部長 藤井	
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5診		副院長 江本	北野病院(形成) ※平本	理事長 荒木 (再診)		井上

診察時間

- ◆完全予約制
- 午前 9時～12時  
(初診受付:午前 11時30分迄)
- 午後 3時～6時  
(初診受付:午後 5時30分迄)
- 救急は 24時間受け付けております

- ※形成外科  
平本先生(北野病院 形成外科)  
第2水曜日 毎月1回
- ※井上名誉教授  
第2・4土曜日 毎月2回

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7  
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048  
E-mail info@arakihp.jp  
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7  
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

荒木クリニック 通所リハビリテーション

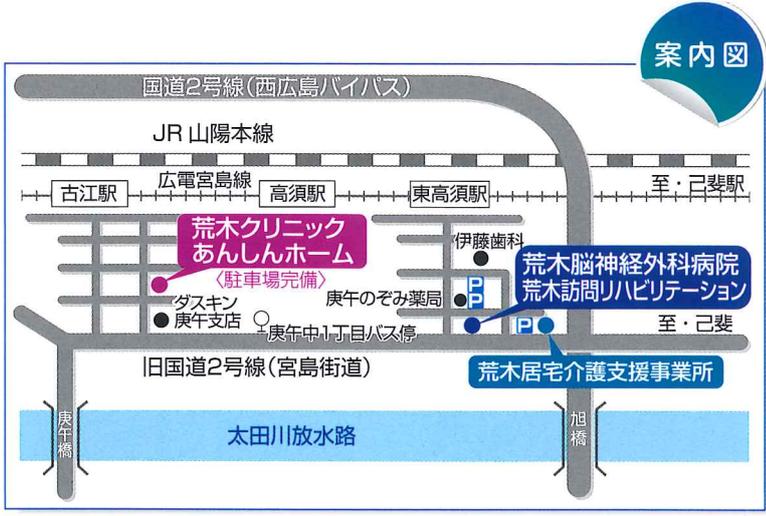
〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15  
TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15  
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目1-4-201  
TEL 082-507-6300



- 自動車  
西広島バイパス「庚午出口」より  
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)
- 広島電鉄・宮島線 / 「東高須」下車 徒歩3分
- 広島バス25号線 / 「庚午北2丁目」バス停前

**お知らせ** 4月より新入職員を迎え、現職スタッフ共々より良いチーム医療を提供していけるよう日々、向上心を持って取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。